

# 誠 実

## 「芸術の秋深まる」

2年協力

我が校は“歌う東山”と言われているそうですが、知っていましたか。正直なところ、この学年はあまり歌が好きではないのかな？とっていました。でも、中間発表が終わった頃から歌声が変わってきました。男子の力強い声や、女子の伸びやかな高音もちらほら聞こえるようになってきました。各学級の合唱練習を見ていると、上手に歌声がまとまらない中でも、くじけずに前向きに引っ張っていきこうとする強さとやさしさを感じました。合唱コンクール当日の歌声は、外部審査員の先生から“順調な成長がみられる”とほめられました。伸びやかになった歌声をさらに伸ばすのは、“考える力”だと思います。まだまだ秋は深まります。今度は読書などにはまってみませんか。

## 文化活動発表会

### を終えて



#### 2年5組 生徒

私は指揮者となり、絶対最優秀賞を取ってみせると意気込んで練習に入りました。しかし、実際は大変なことばかりでした。歌わない人も多く、みんなとの間に距離を感じました。その頃の私は、うまくやろうとする気持ちが強すぎて、毎日怖い顔で練習していたと思います。そこで私は、みんなで声を合わせて歌うことが楽しいと思ってもらえるように、笑顔でみんなが歌いやすい指揮をふることを心がけました。するとその頃から、クラスがまとまり始めたのを感じ、とても嬉しくなりました。今回指揮者を経験したことで、人に求めるだけでなく、自分が変われば人も変わるということを学びました。

#### 2年2組 生徒

曲が決まった頃は、みんな声も出ていなくて気持ちもバラバラでした。特に男子の中に声を出していない人が多くいて、本当に最優秀賞が取れるのか不安になりました。けれど、合唱コンクールが近づくにしたがって、みんなの意識が高まってきたのか、しっかり歌う人が増えてきました。指揮者やパートリーダーが引っ張ってくれて、みんな声が出るようになってきました。僕は、これなら最優秀賞が取れる自信が出てきました。当日の合唱は、伴奏をするのに一生懸命でみんなの歌声を聞く余裕がなかったけれど、きっとすごくいい歌声だったと思っています。結果は優秀賞だったけれど、僕は、最優秀賞を取った気分になりました。

#### 2年7組 生徒

合唱の練習の時には嫌なこともありました。注意しても聞いてもらえず、文句を言われたこともありました。でも、一生懸命歌っている人を見たら、私もがんばろうと思えました。本番前になると、2年生のどの学級もとても上手に聞こえて、とても緊張しました。けれど、いざ舞台に立ってみると、緊張も吹っ飛んで思いっきり歌うことができました。本番では、今までで一番良い歌が歌えました。目標は最優秀賞だったけれど、楽しく歌うことができ優秀賞が取れて嬉しかったです。



## 2年4組 生徒

合唱コンクールの伴奏ができることと決まった時、私はとても嬉しかったです。なぜなら、去年はやりたくてもできなかったからです。だから、絶対に成功してやる、という思いで練習に取り組みました。でも、どうしても最後のところが上手に弾けず、本番も間違えてしまいました。伴奏者賞で名前が呼ばれた時、嬉しかったけれど自分が満足できていない伴奏だったので、とても悔しかったです。あの時もっと練習していればと後悔しました。だから今回の失敗をバネにして、今度は絶対に後悔しないよう、全力で何事にも取り組もうと思います。

## 2年6組 生徒

私は、有志発表に参加して良かったと思いました。グループの仲間と振り付けから何もかも一からでした。最初は何をどうしたらいいのかさっぱり分からず、なかなか進んでいかなかったけれど、みんなで協力してダンスを完成することができました。その時は、とても達成感がありました。当日は、みんなの心が一つになり演技をすることができました。練習の時には、けんかなどいろいろあったけれど、最高の演技ができて良かったです。



## 2年1組 生徒

私たち和太鼓部は、文化活動発表会を終えて心残りがありました。それは、最後の曲で終わりの部分が少しずれてしまったことです。だから、今まで以上に努力をして練習を重ね、次の発表では納得のいく演奏をしたいです。それには、1年生と2年生の気持ちを合わせるように日々の練習から意識して取り組みたいと思います。もっと1年生に気を配っていきます。来年の発表までには、3年生の演奏に近づけるようにしたいと思います。



## 2年3組 生徒

私は今年、初めて文活委員になり、看板係としてあの大きな看板を8人で作り上げました。一から自分たちでテーマを決め、毎日昼放課やST後に集まり作り上げていきました。苦労もあったけれど、完成したときはとても嬉しかったです。また、作り上げていく中で得たこともありました。それは、「計画や準備をしてくれる人がいて行事が成り立っている」ということです。当たり前なことかもしれませんが、これに気づくか気づかないかは大きな違いです。たった2日間の文活ですが、多くの人たちがたくさんの時間をかけて作り上げました。これは簡単なことではありませんが、達成感は大きく自分の力にもなりました。今回の経験を通し、人への感謝の気持ちを大切にして、行事を楽しみたいと思いました。

